

N o	団体名	対象	課題	目的	取組（事業名）	期間	頻度	関与	概要
1	練馬区医師会	主治医、訪問看護ステーション職員、その他関係者（病院医療連携室等担当者、行政等）	専門職のネットワークの充実	専門職のネットワーク連携強化	主治医と練馬区訪問看護ステーション連絡会との研修懇親会	平成14年度～	年1回程度	主催	訪問看護ステーションに訪問看護指示書を出す主治医と、現場で実際に患者と接する訪問看護スタッフとの情報交換、連携、交流を図り、資質向上のための研修懇親会。
2		練馬区医師会員、会員施設従事者、その他、連携する多職種	専門職のネットワークの充実	在宅医療で必要な知識や技術の習得	在宅医療研修会	平成29年度～	年2～3回	主催	在宅医療で必要な知識や技術の習得等を目的とした研修会を開催する。平成31年度は専門医師による講演、薬剤師、地域包括支援センターからの講演を実施。
3		練馬区医師会員、会員施設従事者、その他、連携する多職種	サービス提供体制の充実	病院から在宅療養生活への円滑な移行	東京都在宅療養研修事業にかかる病院内での理解促進研修	平成30年度～	年2回	主催	病院内で病院スタッフ等へ地域在宅医、多職種等を講師とした研修。
4		練馬区医師会員、会員施設従事者、その他、連携する多職種	専門職のネットワーク	在宅医療現場の実際の把握	東京都在宅療養研修事業にかかる相互研修	平成30年度～	適宜	主催	病院スタッフが在宅療養の現場を理解する為、患家宅へ同行訪問および老健施設への見学により地域資源の把握をする。
5		練馬区医師会員	専門職のネットワーク	在宅医療の課題の抽出	在宅医療部会/在宅医療推進協議会	平成28年度～	月1回	主催	在宅医療を提供している会員医療機関の集まりで、在宅医療を行う上での問題点を協議している。また、訪問看護ステーションとも連携している。現在、病院から在宅に移る際の在宅医調整依頼票を作り、依頼法を検討している。また、ITCの活用について検討中。
6		練馬区医師会員	専門職のネットワーク	会員への周知啓発	学術部整形外科医会による講演会	平成29年～	年8回	主催	在宅医療患者も含めたロコモティブシンドロームの予防は フレイルやサルコペニアの予防上重要と考えられるため、健康寿命延伸のために年8回の講演会を通じて会員の啓発に努めている。
7		練馬区医師会員、連携する多職種	専門職のネットワーク	多職種への周知啓発	学術部骨粗鬆症・骨折予防ネットワーク研究会による講演会	平成31年度～	年3回	主催	整形外科、内科、産婦人科、眼 科、歯科、在宅医、薬剤師が役員として構成されている。骨粗鬆症による骨脆弱性骨 折による医療費・介護費は練馬区で年間13億円程度となると試算した。年3回の講演会を通じて、医師だけでなく、薬剤師、ケアマネ、介護職員に対して骨粗鬆症予防は 骨折予防だけでなく健康寿命を延ばすことになり重要であることを啓蒙している。
8	練馬区医師会訪問看護ステーション	区内訪問看護ステーション所長	専門職のネットワーク	区民への質の高い訪問看護の提供	練馬区訪問看護ステーション連絡会事務局	平成10年度～	年4回	協力	練馬区医師会訪問看護ステーションが事務局となり、区内約50ヶ所のステーションと連携を図る。
9	練馬区歯科医師会	区民	区民への啓発	介護家族、本人の口腔ケアの理解と促進（やり方等） 摂食・えん下機能支援事業の普及促進	練馬区歯科医師会の他団体への派遣・交流	平成28年度～	随時	協力	練馬区歯科医師会から講師を派遣し、口腔ケアの基礎と課題の解決方法の学習、意見交換、交流を行う。 平成28年度 認知症の介護家族の会「木瓜の花」例会 平成29年度 認知症カフェ
10		専門職（医師、歯科医師、薬剤師等）	練馬区歯科医師会における摂食・えん下障害への取り組み	摂食・えん下障害に関する理解	練馬区歯科医師会からの講師派遣	平成29年度～	随時	協力	歯科医師会から講師を派遣し、練馬つつじ歯科診療所で扱った摂食・えん下障害患者の症例、摂食・えん下機能支援センター事業、摂食・えん下療法等について専門職向けに講演する。 練馬区薬剤師会（地区薬剤師研修会）、練馬総合病院（練馬在宅症例研究会）、練馬区医師会（摂食・えん下研究会）、介護サービス事業者連絡協議会（研究会）、練馬光が丘病院（看護等スタッフ向け研修）
11		区民および医療・介護の多職種	区民への周知および多職種との連携	在宅療養者への訪問歯科診療および摂食機能療法の提供	練馬つつじ歯科診療所	平成18年度～	随時	主催	訪問歯科診療・摂食機能療法を行う歯科医院を在宅療養者へ紹介する。

N o	団体名	対象	課題	目的	取組（事業名）	期間	頻度	関与	概要
12	練馬区薬剤師会	区民	区民への啓発	健康サポート、有効な医療機関のかかり方、在宅療養時の服薬支援提案	知って納得！薬剤師・薬局活用法	平成25年度～	随時	主催	街かどケアカフェや敬老館、地域の敬老会、デイサービス施設等で実施。保険薬局や薬剤師の活用法、健康相談や医療機関へのかかり方、在宅療養になった際に受けられるサービス等について紹介する。
13		区民	区民への啓発	お薬・介護相談会	そうだ！薬剤師に聞いてみよう	平成16年～	年5回程度	主催	医薬品の適正使用、健康、セルフメディケーション、治療、介護に関する相談対応および必要に応じ受診勧奨をする。
14		区民・専門職	サービス提供体制の充実	在宅業務実施薬局の周知	在宅業務実施薬局リスト	平成25年度～	随時	主催	会員薬局で在宅業務を実施、受け入れ準備のある薬局をリスト化（麻薬・注射剤等の取扱い情報を含む）、HPで公開し、区民や多職種が薬局を選ぶ際に活用できるようにする。
15		専門職	服薬支援における、訪問介護等との連携	多職種への薬剤師職能の理解と活用の促進	意外と知られていない！在宅で薬剤師ができること	平成29年度～	随時	主催	多職種に薬剤師の職能を正しく理解していただき、地域や在宅療養で活用してもらうため、地域包括支援センターや関連団体の要請により講演を実施する。
16		専門職	サービス提供体制の充実	在宅業務受け入れ先のマッチング	エリアコーディネート制度	平成25年度～	随時	主催	在宅業務受け入れ薬局が見つからない、高カロリー輸液や麻薬等、医療依存度の高い事例に対する受け入れ可能な薬局とのマッチング支援を行う。
17		病院勤務薬剤師・薬局薬剤師	専門職のネットワークの充実	入退院時の連携促進	院内外の薬剤師による情報連携が患者を守る	平成年31度～	年 1 回	主催	入院中に実施されることが多い、多剤服用の解消の取組みや処方変更理由などに対して、院内外の薬剤師の共通理解を深めるための研修会を開催
18		薬局勤務薬剤師	無菌製剤処方箋応需	無菌製剤調製技能習得	無菌調製技能習得研修会	平成27年度～	年 1 回	主催	在宅医療における、麻薬注射剤や、高カロリー輸液の無菌調製技能を習得し、処方依頼に対応できるようにする。
19		病院勤務薬剤師・薬局薬剤師	専門職のネットワークの充実	患者情報の共有、連携手段の充実	薬薬連携研修会	令和元年度～	年 2 回	主催	区内の基幹病院における入院時の服薬情報収集、退院カンファレンスの現状を知り、連携に活かす研修会を開催。外来受診においても、薬剤師の発信する服薬情報等提供書の活用促進に務める。
20		地域包括支援センター職員とその担当区域の薬局薬剤師	地域連携の強化	地域連携の結束強化	エリア会	令和2年度～	年 2 回	主催	地域包括支援センターとその管轄地域の多職種、薬剤師とで、地域の課題を検討し、改善に向けての合同の研修会などを企画する。地域のニーズにあった支援、連携の構築を目的とする。
21	練馬総合病院	専門職	専門職のネットワークの充実	多職種の相互理解の促進	練馬在宅症例検討会	平成25年度～	年1回	主催	院内外の専門職を対象に、在宅療養に関わる様々な職種に講師を依頼し、多職種の理解につながる研修を開催する。
22	順天堂大学医学部附属練馬病院	区・市民	区民への啓発	地域医療機関との連携強化 地域社会への貢献 区民への健康に関する啓蒙	区民健康医学講座	平成17年～	年11回	主催	いろいろな病気を当院の専門医師がわかりやすい内容で説明し、区民の理解を深めてもらうための講演会を開催する。
23		専門職（院内・院外医師，院内・院外看護師，訪問看護師，ケアマネ）	地域での支え合い	より良い治療やエンドオブライフケア、アドバンスケアプランを実践する医療・介護者のネットワーク強化	ねりまケアネットワーク	平成27年～	年4回程度	主催	症例検討を行い、医療・介護の多職種が意見交換、信頼関係構築につなげていく研修会を開催する。
24		専門職（院内・院外医師，院内・院外看護師，訪問看護師，ケアマネ）	専門職のネットワークの充実	多職種の相互理解の促進	在宅医療連携の会	平成24年～	年1回	主催	講演形式で、それぞれの職種の業務を互いに理解を深め、スムーズな連携を進めるための講演会を開催する。
25		専門職（院内・院外医師，院内・院外看護師，薬剤師，訪問看護師）	専門職のネットワークの充実	地域医療機関との連携強化の一環と地域社会への貢献	医療連携フォーラム	平成17年～	年6回程度	主催	当院が実施している医療(治療)の説明や、地域と更なる連携を図れるよう、専門的に各科の責任者が中心となり講演する勉強会を開催する。
26		専門職（院内・院外医師，院内・院外看護師，薬剤師，訪問看護師）	専門職のネットワークの充実	顔の見える地域医療機関との連携推進	医療連携の会	平成29年～	年1回	主催	地域と更なる連携強化を目指し、医師、看護師からの講演、他施設との情報・意見交換、各診療科の紹介等、着席形式で行う。
27		専門職(院内・院外医師、院内・院外看護師、薬剤師、訪問看護師)	専門職のネットワークの充実	基本的緩和ケアの教育	緩和ケア研修会	平成22年～	年1回	主催	がん診療連携拠点病院で行う研修。教育資格を持つ医療者で講義、ワークのファシリテートを行う。e-leaningによる事前学習, 事例検討、ロールプレイ学習を行う。

N o	団体名	対象	課題	目的	取組（事業名）	期間	頻度	関与	概要
28	順天堂大学医学部附属練馬病院循環器内科	専門職（院内・院外医師，院内・院外看護師，薬剤師）	専門職のネットワークの充実	顔の見える地域医療機関との連携推進	練馬循環器セミナー	平成26年～	年10回	主催	地域と更なる連携強化を目指し、医師、薬剤師を中心に意見交換等を行う。当院から医師が講演を行う。
29	順天堂大学医学部附属練馬病院がん治療センター	区民（がん患者、家族）	地域での支え合い	がん患者の交流会、ピアサポート　がん治療、緩和ケアの啓発	緩和ケア交流会（患者家族ミニレクチャー＆交流会）	平成26年～	年4回程度	主催	医療者からのミニレクチャーやピアサポート、こころのケアを目的とした交流会や写真展、アロマボランティア協力によるハンドマッサージ等を行う。
30		専門職（院内・院外医師，院内・院外看護師，薬剤師、理学療法士、訪問看護師，ケアマネ）	専門職のネットワークの充実	緩和ケアの質向上と顔の見える地域医療機関との連携促進	Nerima palliative care workshop	平成19年～	年2回程度	主催	緩和医療に伴う知識や連携に関する取り組み、事例検討等を講義形式で行い、意見交換を行う。
31		区民	地域での支え合い	認知症の方やその家族を支援する	オレンジカフェえんがわ	平成29年度～	年12回（月1回）	主催	院内でオレンジカフェを開催し、認知症の方やその家族を支援している。
32	認知症疾患医療センター（慈雲堂病院）	区民	区民への啓発	認知症疾患の知識普及	認知症講演会	平成27年度～	年1回	主催	集合形式もしくは動画配信により、一般区民に対して認知症疾患の知識の普及啓発を行う。
33		専門職（ケアマネジャー、訪問介護員、訪問看護師、理学療法士）	BPSDへの対応	認知症の行動心理症状への対応を学ぶ	専門的知識獲得のための関係者向け研修	平成29年度～	年1回	主催	専門職向けに日常業務の中で対応に困るようなBPSDについて紹介し、対応の仕方について研修を行う。
34		医師会医療連携センター、医療機関（慈雲堂病院・陽和病院）、行政	専門職のネットワーク	情報共有	練馬区認知症疾患医療センター実務者連携協議会	平成28年度～	年4回	主催	認知症に係る関係機関が集まり、在宅療養を続けている認知症の方の支援について情報交換を行い、ネットワークを強固にする。
35		地域包括支援センター職員	専門職のネットワーク	初期集中支援チーム等での認知症の実態把握ツールを学ぶ	DASC-21の使い方を学ぶ	平成30年度	年1回	主催	講演会形式で、DASC-21について学び、認知症の方の実態把握を速やかに行う一助としてもらう。
36	練馬区訪問看護ステーション連絡会	区民	区民への啓発	区民への訪問看護の周知	看護の日のイベント	平成20年度～	年1回	主催	5月の看護の日の週末に、健康測定や介護相談、訪問看護の紹介等を行い訪問看護の周知を図ることを目的としたイベントを開催する。
37		区民	区民への啓発	区民への訪問看護の周知 潜在看護師の発掘	介護週間	—	年1回	協力	練馬区事業者連絡協議会が開催するイベントで、訪問看護を紹介する展示を行うほか、相談・測定等他部会のブースへの協力を行う。 主催：練馬区事業者連絡協議会
38		区民	区民への啓発	在宅療養者の自助力の強化	災害時のリーフレットの作成 災害時個別支援計画の作成	平成26年度～	—	主催	医療処置が必要な訪問看護利用者の発災時の自助力を高めるため、連絡会で災害時対応リーフレットを作成し、平時から発災時に備える指導を行う。また、保健所からの委託を受け「人工呼吸器利用者の災害時個別支援計画」（東京都事業）の作成を行う。
39		区内訪問看護ステーション所長	専門職のネットワーク	区民への質の高い訪問看護の提供	練馬・石神井・大泉・光が丘圏域会議	令和4年度～	月1回	主催	BCP策定にあたり圏域内でのつながりの強化と、地域の活性化のため研修等を行う。
40	練馬区介護サービス事業者連絡協議会居宅介護支援部会	区民	区民への啓発	区民の介護保険に関する知識の向上	介護週間 図書館2か所で講演会「介護保険って何だろう？」 「ねりまの介護の良い話し」動画作成 アトリウムにて写真パネル展示	—	年1回	協力	区役所アトリウムにてパネルと写真展示11月10日～11月15日 ねりまの介護の良い話しの動画を作りYouTubeで配信 11月10日小竹図書館　11月22日大泉図書館にて介護保険ってなんだろう？の講演会を開催
41		区内ケアマネジャー・区内病院MSW	医療連携	区民の入退院時の連携	入院時連携シート　作成・普及	平成28年度～	年1回	主催	区内及び近隣病院の医療相談員等と定期的に合同研修会を開催 お互い知りたい情報伝えたい情報の共有を図り、区内統一した書式の作成。練馬区地域医療課と共催にて研修会を開き周知
42		居宅介護支援事業所	BCP	区内事業所向けBCP作成	自然災害時、感染症時等のBCP（業務継続計画）ひな形作成・見直し	令和4年～		主催	令和5年度までにBCPを作成することが義務付けられており、区内小規模事業所用のひな形を作成。医療的な連携も含まれる。今後は小規模の事業所が協定を結び滞りのない支援が行えるように区と協議していく。
43		専門職	専門職のネットワークの充実	専門領域による理解	事連協別部会と共同で研修会		-	主催	訪問介護部会・リハビリ従事者連絡会・福祉用具部会・地域密着サービス等他部会と不定期ではあるがコラボ研修を行いお互いの利点を分かり合う。

N o	団体名	対象	課題	目的	取組（事業名）	期間	頻度	関与	概要
44	練馬区主任介護支援 専門員協議会 （CMAN）	主任介護支援専門員	介護支援専門員の質の向上	スーパービジョンによる介護 支援専門員の人材育成	スーパービジョン研修・地域同行型研修		年1回	協力	高齢者支援課の介護支援専門員の研修に協力 医療的に問題を抱える利用者のスーパービジョンなど
45		主任介護支援専門員	介護支援専門員の質の向上	スーパービジョンによる介護 支援専門員の人材育成	質の向上ガイドライン研修		年1回	協力	介護保険課 ケアプラン点検のサポート養成 医療的に問題を抱える利用者のリアセスメントシートを用い振り返りケ アプランを改め直す
46		主任介護支援専門員	介護支援専門員の質の向上	スーパービジョンによる介護 支援専門員の人材育成	地域カンファレンス		年1回	協力	地域で困っている又、医療連携している事例を包括支援センターと協力 し事例を提出し、専門職よりアドバイスを受ける
47		区内ケアマネジャー・利 用者	区民への啓発 専門職の人材育成システム	区民へケアマネジャーの仕事 の内容周知	リーフレット作成		3年に1回改 訂	主催	①事業者連絡会居宅部会・練馬ケアマネジャー連絡会・練馬区研修セン ターと協力を得ながら、ケアマネジャーの学ぶビジョンを表す。②区民 向けにケアマネジャーの成長についての表す。 ①②とも医療との連携が欠かせない内容が表記されている。
48	練馬区摂食嚥下研究 会	医師・歯科医師・看護 師・PT・OT・ST・ケアマ ネジャー	区内の摂食嚥下支援体制や クリニカルパスをはじめと するチーム医療促進	摂食嚥下に対する高い質を目指す ための情報交換と討論の場と提供 を目的とする	研究会	平成30年度～	年2回	主催	3～5回/年研修会を開催 令和3年度はコロナのこともあり休止
49	おたがいさまの会	区民や専門職	区民への啓発、専門職の顔 の見える関係づくりなど	認知症とともに歩む社会づく りに向けて、情報発信や学習 会、講演会などを行う。	認知症地域資源マップ「おたがいさま マップ」 認知症当事者講演会 RUN伴ねりま 練馬つながるフェスタ もしバナカフェ	—	定例会は 二ヶ月に一 回 他は適宜	主催 共催 協力	「おたがいさまマップ」を作成し、地区祭などで配布 若年性認知症当事者の方を招き講演 RUN伴ねりまを結成しRUN伴に参加 練馬つながるフェスタにおいてブース出展し認知症や介護の情報発信 YouTubeチャンネルのおたがいさまチャンネルを製作し情報発信など https://youtube.com/channel/UC06VAG0YPzSkwhG8Ruh1rmw
50	NPO法人認知症サ ポートセンター・ ねりま	専門職種・区民	区民への啓発、専門職の顔 の見える関係づくり・介護 相談	認知症の本人・家族の精神 的、身体的負担の軽減につな がる情報発信（講演会）・相 談	認知症フォーラム事業・ 介護家族支援事業 （電話相談、介護相談交流カフェ）	2 0 1 4 年～	適宜	主催	平成26年9月設立（2014年） 介護家族会の主催者、支援団体、個人が参加 本人、家族への相談、情 報発信をしている